

ミュージアムカフェ

姉妹町盟約50周年記念

カフェ種子取(たなどうい)祭

竹富島の種子取祭は五穀豊穡を願う伝統的な農耕儀礼で、毎年旧暦の9月から10月頃に9日間にわたって行われ、7日目と8日目には芸能が奉納されます。国の重要無形民俗文化財。お茶しながら、赤瓦民家や展示資料に囲まれて姉妹町の祭りや生活のお話を聞きます。

▶日時：2月22日(木) 18:30～20:00 ▶場所：交流記念館展示室赤瓦民家前 ▶定員：20名(要申込・先着順) ▶参加費：200円(協力会員は無料) ▶講師：飯田泰彦 町史編集係長(竹富町教育委員会町社会文課) 他



種子取祭の様子(竹富島)

収蔵資料展示

御殿飾りの雛人形

3月3日の桃の節句に合わせ、段飾りとはちょっと違う、建物付きの雛人形を展示します。宮殿のような建物にお内裏様とお雛様が並ぶ「御殿飾り」は、江戸時代に生まれ、西日本を中心に昭和30年代まで流行しました。斜里町富士で飾られた雅な雛人形をご覧ください。▶会期：2月7日(水)～3月13日(水) ▶場所：本

館受付前※この展示のみの観覧は無料です。



御殿飾りの雛人形

ロビー展

姉妹町盟約50周年記念

竹富町との交流のあゆみ写真展

竹富町との姉妹町盟約の調印は昭和48年(1973)1月10日。その後は農業や漁業の交流、物産展の開催、児童・生徒や町民号による相互訪問などが続いています。これら半世紀にわたる交流を写真で振り返ります。▶会期：2月1日(木)～22日(木) ▶場所：交流記念館ロビー※ロビー展のみの観覧は無料です。



斜里町少年親善使節団竹富町訪問の様子

ロビー展

道東地区博物館巡回展

カメラは見た！動物たちの素顔

普段見なれた動物たちを「ちょっと変わった角度」からとらえた写真

展です。一瞬の気を抜いた時の表情や撮影した地域ならではの動物たちの風景など、いつもと違った動物たちの素顔をお楽しみください。※本内容は美幌博物館特別展の内容を巡回展として再構成したものとなっています。▶会期：2月27日(火)～3月31日(日) ▶場所：交流記念館ロビー※ロビー展のみの観覧は無料です。

学芸員のイチオシ

電気ショッカー



電気を水中に流して、**魚を殺さず気絶させる調査用具**です。電流を受けた魚はショックで一瞬気絶して浮かんできます。そこを網で掬い上げて捕獲していきます。釣りや網での捕獲だと、個人の技量により捕獲効率が大きく変わってしまいますが、この道具を使うことで誰でも調査区間にいる魚のほぼ100%を捕獲することが可能になり、高精度な魚類の生息密度を算出できます。魚類調査には欠かせない道具ですが、約20kgもあり、1日背負うと体の節々から悲鳴が出ます。※使用には北海道知事の許可が必要です。

休館日

2月5日(月)、11日(日・祝)、12日(月)、19日(月)、26日(月)